

科目名	解剖学実習		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		1 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	実習	単位	2 単位
	人体の構造と機能及び心身の発達		コマ数	30 コマ	時間数	60 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎村仲隼一郎／実務経験：作業療法士 病院勤務 9 年					
授業概要	骨・筋の触診を行う					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の身体上で骨・筋の触診ができるようになる ・筋の場所のイメージを持つことができる 					
教科書	機能解剖学的触診技術 上肢・下肢 【メディカルビュー】					
参考書	標準理学療法学・作業療法学 解剖学第 4 版 【医学書院】 プロメテウス解剖学アトラス 運動器系 【医学書院】 基礎運動学 第 6 版 【医学書院】					
成績評価方法	実技試験	定期試験			計	
	20 点×5	点	点		100 点	
予習・復習のポイント	解剖学を事前に予習し、受講するとより理解が深まる。また、繰り返し実技の練習を行うことで知識の定着に繋がる。					
授業計画						講師名
第 1 回	オリエンテーション 鎖骨【肩峰端・胸骨端】 肩甲骨【肩甲棘・肩峰・内側縁】					村仲
第 2 回	肩甲骨【外側縁・関節下結節・烏口突起・上角・下角】 胸郭【胸骨柄・頸切痕・胸骨体・剣状突起】					村仲
第 3 回	上腕骨【大結節・小結節・結節間溝・外側上顆・内側上顆・上腕骨小頭・肘頭窩・上腕骨滑車】					村仲
第 4 回	橈骨【橈骨頭・橈骨茎状突起・リスター結節】 尺骨【肘頭・尺骨頭・尺骨茎状突起】					村仲
第 5 回	手根骨【豆状骨・三角骨・舟状骨・月状骨・大菱形骨・小菱形骨・有頭骨・有鉤骨】					村仲
第 6 回	骨 触診確認 (第 1～第 5 回分)					村仲
第 7 回	骨盤【腸骨稜・上前腸骨棘・下前腸骨棘・坐骨結節】 大腿骨【大転子・大腿骨頭・大腿骨膝蓋面】					村仲
第 8 回	大腿骨【大腿骨内側顆・大腿骨外側顆・大腿骨内側上顆・大腿骨外側上顆・内転筋結節】 下腿【膝蓋骨・脛骨粗面】					村仲
第 9 回	下腿【脛骨内側顆・脛骨外側顆・腓骨頭・内果・外果】 脊柱【外後頭隆起・頸椎棘突起・腰椎棘突起】					村仲
第 10 回	骨 触診確認 (第 7～第 9 回)					村仲
第 11 回	三角筋・大胸筋・棘上筋・棘下筋					村仲
第 12 回	小円筋・大円筋・肩甲下筋・広背筋					村仲
第 13 回	烏口腕筋・僧帽筋・菱形筋・肩甲挙筋・					村仲
第 14 回	小胸筋・前鋸筋・上腕二頭筋・上腕筋					村仲

授業計画		講師名
第 15 回	腕橈骨筋・上腕三頭筋・肘筋・円回内筋	村仲
第 16 回	復習	村仲
第 17 回	上肢の筋 触診確認 (第 11～第 15 回)	村仲
第 18 回	方形回内筋・回外筋・長掌筋・橈側手根屈筋・尺側手根屈筋	村仲
第 19 回	長橈側手根伸筋・短橈側手根伸筋・尺側手根伸筋・総指伸筋・示指伸筋・小指伸筋	村仲
第 20 回	長母指伸筋・短母指伸筋・長母指外転筋・浅指屈筋・深指屈筋	村仲
第 21 回	長母指屈筋・短母指屈筋・短母指外転筋・母指内転筋・母指対立筋	村仲
第 22 回	小指外転筋・短小指屈筋・小指対立筋・虫様筋・背側骨間筋・掌側骨間筋	村仲
第 23 回	腸骨筋・大腰筋・縫工筋・大腿筋膜張筋・中殿筋	村仲
第 24 回	上肢の筋 触診確認 (第 18～第 22 回)	村仲
第 25 回	大殿筋・梨状筋・長内転筋・恥骨筋・大内転筋・	村仲
第 26 回	大腿直筋・内側広筋・外側広筋・中間広筋・半腱様筋	村仲
第 27 回	半膜様筋・大腿二頭筋・薄筋・膝窩筋・前脛骨筋	村仲
第 28 回	腓腹筋・ヒラメ筋・後脛骨筋・長腓骨筋・短腓骨筋	村仲
第 29 回	復習	村仲
第 30 回	下肢の筋 触診確認 (第 24～第 29 回)	村仲

科目名	運動学 I		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		1 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	2 単位
		人体の構造と機能及び心身の発達		コマ数	15 コマ	時間数
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎神保洋平／実務経験：作業療法士 病院勤務 6 年					
授業概要	人体の運動を力学的観点から学習する					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 解剖学的知識を基に、関節の構造、筋の付着から運動の仕組みを理解する 人体の動きを運動学的に説明できる 					
教科書	基礎運動学 第6版 補訂 / プロメテウス 解剖学アトラス第3版					
参考書						
成績評価方法	期末試験				計	
	100 点	点	点	点	100 点	
予習・復習のポイント	シラバスを読み、教科書の該当箇所を授業前後に読む。					
授業計画						講師名
第 1 回	生体力学とは何かを理解する／Newton の運動法則を理解する 慣性の法則／運動方程式／作用反作用の法則／重力加速度／力				19,35,36	神保
第 2 回	運動の空間的側面（面と軸）を理解する 基本的肢位／解剖学的肢位／前額面／矢状面／水平面／垂直軸／矢状水平軸 ／前額水平軸				20,21	
第 3 回	上肢帯と肩関節の動きを理解する／肩甲上腕リズム				213-	
第 4 回	／回旋筋腱板／浅い関節構造をどのように補強しているか				224	
第 5 回	肘関節と前腕の動きを理解する 肘の 3 つの屈筋の違いを理解する				224- 229	
第 6 回	手関節と手の動きを理解する 手の動きに橈骨手根関節と手根中央関節はどう連携しているか				229- 246	
第 7 回	指の動きを理解する／浅指屈筋と深指屈筋の違い／CM 関節の特徴／長母指 外転筋と短母指外転筋の違い					
第 8 回	指の動きを理解する／指背腱膜の構造を理解する 虫様筋・骨間筋の役割の違いを理解する					
第 9 回	まとめ					
第 10 回	身体とてこ（てこの種類）を理解する				40,43	
第 11 回	並進運動と回転運動				28	
第 12 回	モーメント：人体でモーメントはどのように働いているかを理解し、計算が できる。				31-32	
第 13 回						
第 14 回						
第 15 回	全体まとめ					
備考						

科目名	運動学Ⅱ		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		2 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	4 単位
	人体の構造と機能及び心身の発達		コマ数	30 コマ	時間数	60 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎神保洋平／実務経験：作業療法士 病院勤務 6 年					
授業概要	人体の運動を力学的観点から学習する					
到達目標	下肢・体幹の運動の仕組みを理解する 重心と反力、モーメントの概念を活用し、動作の分析が出来る 運動に関与する神経基盤／運動に伴う循環器系の変化／エネルギー代謝を理解する 姿勢や歩行を動作分析的視点で見ることが出来る					
教科書	基礎運動学第 6 版【医歯薬出版】					
参考書	プロメテウス解剖学アトラス運動器系【医学書院】					
成績評価方法	中間テスト	期末テスト			計	
	50 点	50 点	点		100 点	
予習・復習のポイント	【予習】各授業のテーマに該当する教科書を読む 【復習】授業のポイント、キーワードを整理する					
授業計画					日付	講師名
第 1 回	股関節の関節構造と靭帯の作用を理解する					神保
第 2 回	股関節の関節構造を理解する					神保
第 3 回	股関節の筋の作用を理解し空間的に出来る					神保
第 4 回	膝関節と靭帯の作用を理解する					神保
第 5 回	膝関節構造を理解する					神保
第 6 回	膝筋の作用を空間的に理解する					神保
第 7 回	足関節の関節構造と靭帯の作用を理解する 足の筋の作用を理解し空間的に出来る					神保
第 8 回	足のアーチ構造を理解し、アーチを支えている仕組みを理解する					神保
第 9 回	運動学習の理論					神保
第 10 回						神保
第 11 回	エネルギー代謝（カロリー／基礎代謝／エネルギー代謝率／代謝当量）					神保
第 12 回						神保
第 13 回	筋のエネルギー代謝					神保
第 14 回	復習課題					神保
第 15 回	前半まとめ					神保

授業計画		講師名
第 16 回	表情筋・顎関節の運動学	神保
第 17 回	頸部～体幹の運動学	神保
第 18 回	頸部～体幹の運動学	神保
第 19 回	呼吸の運動学	神保
第 20 回	呼吸の運動変化（呼吸生理学）	神保
第 21 回	運動学的分析の手順を理解する	神保
第 22 回	第 21 回の内容を踏まえ、重心・姿勢と筋活動を分析的に理解する	神保
第 23 回	第 21 回の内容を踏まえ、重心・姿勢と筋活動を分析的に理解する	神保
第 24 回	歩行周期を理解する	神保
第 25 回	歩行周期の角度変化について理解する （股関節・膝関節・足関節・骨盤）	神保
第 26 回	歩行周期における床反力・重心移動の変化を理解する	神保
第 27 回	歩行周期における筋活動を理解する	神保
第 28 回	小児と高齢者の歩行について理解を深める	神保
第 29 回	復習課題	神保
第 30 回	後半まとめ	神保
備考		

科目名	精神医学		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		2 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	2 単位
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進		コマ数	30 コマ	時間数	60 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎高橋知之／実務経験：作業療法士 病院勤務 7 年					
授業概要	作業療法士に必要な精神医学を学ぶ					
到達目標	作業療法を実施するために必要な ①精神医学の総論について説明できる ②精神症候学について説明できる ③各精神疾患について説明できる					
教科書	精神医学第 3 版【医学書院】					
参考書	精神疾患の理解と精神科作業療法【中央法規】 現代臨床精神医学【金原出版】					
成績評価方法					計	
	200 点	点	点	点	200 点	
予習・復習のポイント	シラバスに従い、教科書の該当箇所を熟読し講義に臨むこと。 講義内容に従い、過去の国家試験問題の該当箇所を学習すること。					
授業計画						講師名
第 1 回	精神医学とは 正常と異常 ICDとDMS 成因と分類 Tx. P2-6					高橋
第 2 回	精神障害者の処遇の歴史と法規 Tx. P6-10 252-270					高橋
第 3 回	精神障害の診断と評価 成因と分類 病識と病感 Tx. P11-15					高橋
第 4 回	意識とその障害 知能とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 5 回	性格とその障害 記憶とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 6 回	感情とその障害 欲動、意志とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 7 回	自我意識とその障害 知覚とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 8 回	思考とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 9 回	思考とその障害 Tx. P16-38					高橋
第 10 回	精神状態像 神経心理学的症状 Tx. P38-45					高橋
第 11 回	精神障害分野における検査 Tx. P53-67					高橋
第 12 回	リエゾン精神医学 心身医学 Tx. P205-212					高橋
第 13 回	精神障害の治療 Tx. P229-251					高橋
第 14 回	社会文化とメンタルヘルス Tx. P271-277					高橋
第 15 回	前期まとめ					高橋
備考	再試験の場合は、後期末再試験期間に前後期全範囲にて実施する。					

科目名	リハビリテーション概論		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		1 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	1 単位
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念		コマ数	15 コマ	時間数	30 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎神保匡良／実務経験：作業療法士 老健勤務 8 年					
授業概要	リハビリテーションの概要を理解する					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの定義・目的について説明できる ・リハビリテーション領域と各職種について説明できる ・障害のとらえ方、対応について説明できる 					
教科書	入門リハビリテーション概論第 7 版, 増補					
参考書	ひとりで学べる作業療法士（作業・理学）国家試験・問題と詳解					
成績評価方法					計	
	100 点	点	点	点	100 点	
予習・復習のポイント	シラバスを読み、教科書の該当箇所を授業前後に読む。 講義該当箇所の国家試験問題を学習する。					
授業計画						講師名
第 1 回	リハビリテーションの定義を説明できる					神保匡
第 2 回	リハビリテーションの目的を説明できる					神保匡
第 3 回	リハビリテーションの職種について説明できる。 (理学療法士・言語聴覚士・社会福祉士・精神保健福祉士・リハ医師の役割を説明できる) チームアプローチについて説明できる。					神保匡
第 4 回	リハビリテーションの職種について説明できる。 (理学療法士・言語聴覚士・社会福祉士・精神保健福祉士・リハ医師の役割を説明できる) チームアプローチについて説明できる。					神保匡
第 5 回	作業療法の定義を説明できる。					神保匡
第 6 回	作業療法の範囲、目的を説明できる。					神保匡
第 7 回	リハビリテーションの歴史的変遷を説明できる。Tx. P1-8 リハビリテーションとノーマライゼーションについて説明できる。 Tx. P89-92 (自立・QOL・バリアフリー・ユニバーサルデザインなど)					神保匡
第 8 回	リハビリテーションの諸段階(医学的・社会的・教育的・職業的など) Tx. P115-166					神保匡
第 9 回	リハビリテーションの分野について説明できる。 (身障・発達・身障・精神・高齢期・地域リハなど)					神保匡
第 10 回	リハビリテーションの分野について説明できる。 (身障・発達・身障・精神・高齢期・地域リハなど)					神保匡
第 11 回	障害の分類 I C I D H について説明できる。					神保匡
第 12 回	障害の分類 I C F を説明できる。					神保匡
第 13 回	I C F を用いて情報を整理することができる。					神保匡
第 14 回	I C F を用いて情報を整理することができる。					神保匡
第 15 回	まとめ					神保匡
備考						

科目名	専門職連携論	対象学科	作業療法学科
-----	--------	------	--------

指定規則科目区分	開講学年		4 学年	
	専門基礎分野	講義形態	講義	単位
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	コマ数	15 コマ	1 単位 時間数 30 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎村仲隼一郎／実務経験：作業療法士 病院勤務 9 年			
授業概要	運動器の生理学、および整形疾患を理解する			
到達目標	1. 筋生理学を理解する 2. 感覚について理解する 3. 運動器について理解する 4. 整形疾患について理解する			
教科書	PT/OT 国家試験必修ポイント 基礎医学【医歯薬出版】			
参考書	配布資料 病気が見える 7 脳・神経【メディックメディア】 プロメテウス 解剖学アトラス 運動器系 【医学書院】 基礎運動学 【医歯薬出版】 解剖学 第 3 版 【医学書院】			
成績評価方法	定期試験			計
	100 点	点	点	100 点
予習・復習のポイント				
授業計画				講師名
第 1 回	【筋生理学 骨格筋】 筋原線維 骨格筋の特徴 運動単位		P144-148	村仲
第 2 回	【筋生理学 骨格筋】 筋収縮の生理 筋紡錘 ゴルジ腱器官 伸張反射		P150-156	村仲
第 3 回	【感覚】 皮膚の構造 感覚受容器 視覚器 視覚路		P157-163	村仲
第 4 回	【感覚】 聴覚器 大脳機能局在		P164-166	村仲
第 5 回	【運動機能学 骨】 骨 関節 上肢 下肢		P170-182	村仲
第 6 回	【運動機能学 骨】 骨 関節 上肢 下肢		P170-182	村仲
第 7 回	【運動機能学 筋】 上肢		P186-189	村仲
第 8 回	【運動機能学 筋】 下肢		P191-195	村仲
第 9 回	【運動機能学 筋】 頭部 頸部 体幹		P197. 226-227	村仲
第 10 回	【運動機能学 神経支配】 上肢・二重神経支配 脳神経		P198-212	村仲
第 11 回	【運動機能学 神経支配】 下肢・二重神経支配 呼吸筋		P214-224	村仲
第 12 回	【運動機能学 運動学】 バイオメカニクス		P249-254	村仲
第 13 回	【運動機能学 運動学】 正常歩行		P240-247	村仲
第 14 回	【運動機能学 運動学】 姿勢 動作分析 運動学習		P257-260	村仲
第 15 回	まとめ			村仲
備考				